



社会福祉法人
八戸市社会福祉事業団

〒039-1166 八戸市根城八丁目8番39号
電話：0178 (41) 1215 FAX：0178 (45) 1450
HP：https://www.hsfj.or.jp



長生園…郷土料理「菊の酢のもの」を作るため、長生園入所者の皆さんで下準備

社会福祉法人八戸市社会福祉事業団 組織及び事業

事務局管理課	
在宅サービス課	老人居宅介護等事業・障害福祉サービス事業・訪問入浴介護事業・居宅介護支援事業・訪問入浴サービス事業
うみねこ学園	障害児入所施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
うみねこ塾	障害児通所支援事業
いちい寮	障害者支援施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・日中一時支援事業
長生園	養護老人ホーム
長生園デイサービスセンター	老人デイサービス事業
浩々学園	児童養護施設
小菊荘	母子生活支援施設



園内行事

児童養護施設 浩々学園

卒園式の様子



夕涼み会でおにぎりを 作りました



昨年度は新型コロナウイルス、インフルエンザの流行により、行事の延期や中止を余儀なくされました。そのような中で、子どもたちが少しでも楽しむことができるよう、行事の内容を工夫しながら実施しました。

まず、これまで毎年夏休みに実施していた夕涼み会は、夕方から日中に時間をずらし、子どもたちが作った食事を楽しむ内容に変更しました。ただし、ソーシャルディスタンスを保つため、食事テーブルを分けるなど、感染対策をしながらの行事となりましたが、子どもたちからは「楽しかった!」「またやりたい!」との声が多く聞かれました。

次に学年に応じて実施している学齢別行動は、海釣りやパークゴルフなどの屋外での活動や、釣った魚の調理をするなど体験型の行事を行いました。しかし、一部の学年は感染症の影響で予定通り実施することができず、テイクアウトを活用したり、園内でゆっくり過ごしたりする工夫をしました。

さらに、卒園式・卒園生を祝う会は卒園生にとって園内最後の行事ですが、通常とは異なる形で実施しました。卒園生を祝う会はホテルでの会食ではなく、ホテルの豪華なお弁当にしました。

卒園式は後日園内で実施し、子どもたちと職員全員が笑顔で卒園生を送り出すことができました。

感染症によりこれまでと違う行事に戸惑い大変なこともありましたが、子どもたちと楽しい時間を過ごすため、可能な限り実施しました。今後も、思うように行事を実施できないことがあるかもしれませんが、子どもたちが楽しめる行事を企画していきたいと思えます。

(内村 円香)

サークル活動

障害者支援施設 いちい寮

いちい寮では、入所者が張りのある生活を送ることを目的に、今年度から男女合同でのサークル活動を取り入れていきます。記念すべき第一回目は、5月に「運動サークル」を実施しました。階上町のふるさと河川公園までドライブし、河川敷をウォーキング。どんよりしていた空もいつの間にか快晴になり、入所者の足取りはいつもより軽やかです。うっすらと汗をかいている方もおり、ウォーキング後のジューズをおいしそうに飲んでいました。

また、7月には寮内で「カラオケサークル」を実施しました。事前に告知用のポスターを掲示し、入所者のワクワク感を誘います。普段の支援で行っているカラオケの時間も、本番に向けていつもより熱が入っているようでした。当日はカラオケの機材を手配し、本格的なカラオケ大会のようで、入所者はそれぞれの十八番を存分に披露し、会場内は手拍子や歓声で大賑わいとなりました。短い時間ではありましたが、入所者の皆様が心から楽しんでる表情に安堵しました。

今後も、皆様に喜ばれる活動を実施し、入所者に適した環境、支援を提供できるように努めていきたいと思えます。

(中村 博之)





《小さな幸せ》みつけた

養護老人ホーム長生園

長生園では今年度から、居室棟の中庭に小規模な園芸スペースを設けました。従来の園芸スペースは正門付近にあり、居室棟から離れていたため、普段シルバーカーや杖を使用している入所者は転倒の不安もあり、園芸作業への参加が難しい状況でした。新たに居室近くに園芸スペースを設けたことにより、多くの入所者が気軽に園芸作業に参加できるようになりました。

園芸作業は5月から始め、まずは作業の参加者を募り、育てる作物や花を入所者と職員で相談して決めました。園芸スペースは入所者と職員と一緒に草取りをしたり、砂利を取り除いたりしたほか、地域の方の協力で耕していたいただきました。その後は種や苗を植え、トマト・メロン・イチゴ・玉ねぎ、グラジオラス・ひまわり・ダリアなどを育てています。多くの入所者が園芸作業に参加しており、水やりや草取りなど一生懸命作業を行っています。



参加していない入所者からも、「野菜や花の成長が楽しみ」との声があり、廊下で足を止めて作業の様子を見ていく入所者もいます。園芸スペースを居室近くに設け、手入れがしやすくなったことで、園芸を身近に感じてもらえるようになりました。また、今まで作業に参加していなかった入所者からも、参加したいという声がかかれています。今後とも、長生園の目標である「元気で長生き」の実現に向けて、入所者のみなさんが日々の生活の中で楽しみを持てるような支援を提供していきたいと思えます。

(玉川 悠理)

アフタヌーンティー

放課後等デイサービスセンター

うみねこ塾

「おはなしの日」

「はじまるよ、はじまるよ♪」の歌のリズムで、子どもたちの手拍子とともに笑顔がはじける時間が始まりました。歌が好きな子は、読み聞かせ前の手遊びの歌声につられて集まってきます。

今年度から、以前実施していた金曜日の言語訓練の代わりに絵本の読み聞かせを行う「おはなしの日」を始めました。読み聞かせは、言語の習得などの学習面はもちろん、子どもの心の成長に大いに役立ちます。まだ言葉が理解できない子ども、職員の声色やその場の空気を感じ取り、想像力を養うことができます。実際の読み聞かせでは、絵本や紙芝居、

カードシアターなどを取り入れていますが、特に子どもたちが好きなのは仕掛け絵本で、声を出して笑ったり、自分で触ってみたりと様々な反応を見せてくれます。

【保護者との連携】

これまではコロナ禍のため、うみねこ塾での子どもたちの様子を保護者の方に見ていただく機会がありませんでしたが、今年度からはその機会として保護者参観週間を設けました。子どもたちからは「楽しかった」「ママに見られて緊張した」、保護者からは「また機会があれば参加したいです」「他児との雰囲気や先生方との関わり方を拝見することができました」「大変貴重な時間となりました」などの声がかれました。

また、保護者からの要望に応え、初めての試みとして茶話会を行いました。保護者のみなさんが語り合える機会となりました。普段の活動風景の写真をスライドショーで見いただいたところ、大変好評でした。

今後も、さまざまな取組を検討し、子どもたちのもうひとつの居場所となれるよう努めてまいります。

(鳥山 紗妃子)



地域交流

障害児入所施設 うみねこ学園

今年度、うみねこ学園では移転当初の目標であった「地域交流」と「小グループ活動」の取り組みとして、うみねこ学園の所在地域である鮫地区の行事に参加することにしました。

4月中旬に行われた燕島祭りには、高校生数名と職員が参加し、屋台での買い物や射的などを体験しました。舞台では和太鼓や舞妓、コンテストなどの出し物が行われ、地域祭りの雰囲気存分に味わうことができました。子どもたちからは、「楽しかった」「また行きたい」等の声が聞かれました。7月のさめ浜祭りでは、運営補助として数名が参加し、9月には鮫味覚祭りにも参加する予定です。今後も、積極的に地域交流に参加していきたいと思えます。

また、お金の使い方や外食のマナーを学ぶほか、公共交通機関の利用を体験する小グループ活動も再開しました。子どもたちもこの活動をととても楽しみにしており、どこへ行くか、何を食べるかなどを職員と一緒に計画しています。卒業後の自立を目指して継続していきたいと思えます。

(館柳 璃櫻)



アルコールチェック義務化!

在宅サービス課

道路交通法が改正され、令和4年度から社用車・業務で使用する自家用車を保有している白ナンバー事業所も安全運転管理者によるアルコールチェックが義務化となりました。

義務化に伴い、在宅サービス課では、職員一人ひとりにアルコールチェックを配布しています。訪問介護員、ケアマネジャー、訪問入浴車の運転手は、利用者宅へ向かう際、運転の前後にアルコールチェッカーで呼気をチェックし、測定結果を安全運転管理者へ報告しています。

導入当初は、毎回、測定するのが面倒に感じていましたが、今では日課となり、お互いに出発前に確認し合うなど、安全運転に対する意識が高まりました。

今後も、事故を防止するための対策として、アルコールチェックを確実に行うとともに、安全運転に努め、訪問介護サービスを確実に提供できるよう努めてまいります。

(工藤 世津子)



花を植えたよ

母子生活支援施設 小菊荘

7月8日(土)、八戸ロータリークラブのみなさん、花の苗木などの販売を取り扱うパセリー菜のスタッフのみなさん、そして入所者のみなさんと花壇の整備を行いました。長雨による影響で花壇の雑草が生い茂っていたため、まずは鎌を使い草取りから行いました。

草取り後はベチユニア、サルビア、マリイゴールド、エンジェルダンス、ピーマン、ナス、トマト、バジル、ブルーベリー、ワールドベリイなどの苗をたくさん植えました。花の苗を植える際、パセリー菜の方から苗は苗ポットから出して根っこをほぐしてから植えるように教わり、入所者同士でどうやってほぐすのか聞いたり、教えたりしながら頑張っていました。

次は、植えた野菜の収穫を入所者のみなさんと楽しみたいと思います。

八戸ロータリークラブの皆さんいつもご支援ありがとうございます。

(岩間 慶子)





新任職員紹介



浩々学園
園長 工藤 英一

趣味：旅行
施設長として経験は浅いですが精一杯努めていきたいと思ひます。



うみねこ学園
児童指導員 坂本 泰樹

趣味：釣り
仕事も休日も楽しく過ごします。



いちい寮
生活支援員 坂本 大輔

趣味：釣り・アウトドア
4月からいちい寮で勤務させていただくことになりました。即戦力として仕事ができるよう頑張ります。どうぞよろしくお祈りします。



浩々学園
児童指導員 小川 信広

趣味：卓球
今後も先輩方に教えてもらいながら頑張っていきます。



浩々学園
保育士 小笠原 諒祐

趣味：釣り
子どもたちが安心して生活できるような関わりをしていきたいです。



浩々学園
看護師 山野内 佐枝

趣味：キャンプ
子供たちの健康面をサポートできるように頑張ります。

令和4年度実践研修報告会

当事業団では、サービスの質の向上を図るため、職員が自己評価から得られた課題に取り組み、その成果等を報告する「実践研修報告会」を平成30年度から毎年実施しております。

令和4年度の理事長賞はうみねこ学園、チームワーク賞はいちい寮が受賞しました。

令和4年度の報告内容は次のとおりです。

施設(課)名	テーマ
在宅サービス課	5S活動の取り組み ～仕事に集中できる職場環境を整える～
障害児入所施設うみねこ学園	将来の自立を目指して ～一歩踏み出すことにチャレンジ～
放課後等デイサービスセンターうみねこ塾	もう一つの居場所になるために
障害者支援施設いちい寮	二度のクラスター襲来 ～経験から得た新しい対応の形～
長生園デイサービスセンター	介護ソフトが欲しい! ～WIN WIN大作戦～
児童養護施設浩々学園	そだちの木開設からの歩み ～分園での生活と自立へ向けての支援～
母子生活支援施設小菊荘	家事能力の向上を目指して



※掲載しているすべての写真は、本人及び保護者より許可を得ています。

令和4年度 決算報告

資金収支計算書 (自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動収入計(1)	964,564,000	985,891,040	△ 21,327,040
事業活動支出計(2)	1,012,169,000	967,329,264	44,839,736
事業活動資金収支差異(3)	△ 47,605,000	18,561,776	△ 66,166,776
施設整備等収入計(4)	1,600,000	1,600,000	0
施設整備等支出計(5)	34,836,000	34,833,040	2,960
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 33,236,000	△ 33,233,040	△ 2,960
その他の活動収入計(7)	0	0	0
その他の活動支出計(8)	9,014,000	9,008,751	5,249
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 9,014,000	△ 9,008,751	△ 5,249
予備費支出(10)		-	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 89,855,000	△ 23,680,015	△ 66,174,985
前期末支払資金残高(12)	333,043,000	333,047,597	△ 4,597
当期末支払資金残高(11)+(12)	243,188,000	309,367,582	△ 66,179,582

事業活動計算書 (自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計(1)	981,036,521	980,709,867	326,654
サービス活動費用計(2)	1,010,815,622	994,038,815	16,776,807
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 29,779,101	△ 13,328,948	△ 16,450,153
サービス活動外収益計(4)	4,854,519	4,565,245	289,274
サービス活動外費用計(5)	2,816,904	2,677,721	139,183
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,037,615	1,887,524	150,091
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 27,741,486	△ 11,441,424	△ 16,300,062
特別収益計(8)	3,762,710	10,648,700	△ 6,885,990
特別費用計(9)	1,600,006	9,926,001	△ 8,325,995
特別増減差額(10)=(8)-(9)	2,162,704	722,699	1,440,005
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 25,578,782	△ 10,718,725	△ 14,860,057
前期繰越活動増減差額(12)	652,988,992	664,716,448	△ 11,727,456
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	627,410,210	653,997,723	△ 26,587,513
基本金取崩額(14)			
その他の積立金取崩額(15)		40,000,000	△ 40,000,000
その他の積立金積立額(16)	9,008,751	41,008,731	△ 31,999,980
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	618,401,459	652,988,992	△ 34,587,533

貸借対照表 令和5年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	356,395,580	389,949,445	△ 33,553,865	流動負債	98,308,189	105,117,521	△ 6,809,332
				固定負債	214,661,000	234,605,000	△ 19,944,000
				負債の部合計	312,969,189	339,722,521	△ 26,753,332
固定資産	1,851,159,040	1,908,315,607	△ 57,156,567	純資産の部			
基本財産	1,239,637,860	1,299,141,519	△ 59,503,659	基本金	3,000,000	3,000,000	
				国庫補助金等特別積立金	826,456,254	864,834,572	△ 38,378,318
その他の固定資産	611,521,180	609,174,088	2,347,092	その他の積立金	446,727,718	437,718,967	9,008,751
				次期繰越活動増減差額	618,401,459	652,988,992	△ 34,587,533
				(うち当期活動増減差額)	△ 25,578,782	△ 10,718,725	△ 14,860,057
資産の部合計	2,207,554,620	2,298,265,052	△ 90,710,432	純資産の部合計	1,894,585,431	1,958,542,531	△ 63,957,100
				負債及び純資産の部合計	2,207,554,620	2,298,265,052	△ 90,710,432